

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-112	Year Month Day Time 2017 年 5 月 5 日 10 : 50
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
明	成	開志国際
	64	61
	○	●
	( 14 1st 13 17 2nd 17 14 3rd 18 19 4th 13 E P )	

主審:Referee  
北沢あや子 宮城  
副審:Umpire  
中村浩仁 青森  
山田 俊 宮城  
テーブルオフィシャル:Table officials  
大館鳳鳴高男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4		村上 孝太		-	-	-	-	0	4	×	伊藤 領	CAP	0	0	0	0	1
5	×	塚本 舞生		0	0	0	0	2	5	×	中山 星磨		4	0	2	0	2
6	×	相原アレクサンダー 学	CAP	13	0	6	1	4	6		高嶋 淳次		-	-	-	-	0
7		深田 一成		-	-	-	-	0	7	/	山口 蓮		2	0	1	0	3
8	×	八村 阿蓮		14	0	4	6	3	8		四籠 純		-	-	-	-	0
9	/	蒔苗 勇人		2	0	1	0	0	9		津田 優弥		-	-	-	-	0
10	×	田中 裕也		24	6	1	4	0	10	/	中澤 嶺		0	0	0	0	0
11	/	木村 拓郎		0	0	0	0	1	11	/	小栗 瑛哉		6	1	1	1	4
12	×	本間 紗斗		9	3	0	0	1	12		清水 瑠衣		-	-	-	-	0
13	/	古川 空音		2	0	1	0	2	13	×	和田 蓮太郎		17	1	6	2	1
14		バブシキ ダニエル		-	-	-	-	0	14	×	JOOF YUSUF		18	3	4	1	3
15		菱倉 嵩人		-	-	-	-	0	15	/	BABACARR. S NYASSI		6	0	3	0	2
16		井上 耀		-	-	-	-	0	16	×	小池 文哉		3	1	0	0	2
17		小川 祥英		-	-	-	-	0	17	/	吉川 瑠		5	1	1	0	1
18		江刺 明青		-	-	-	-	0	18		相馬 迅		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫						0	コーチ		富樫 英樹						0
アコーチ		高橋 陽介						0	アコーチ		津野 祐樹						0
合 計				64	9	13	11	13	合 計				61	7	18	4	19

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 インシュート 2P:2P率 インシュート FT:フリースロー F:ファウル

#### Score ranking[Team]

1	24	37.50%	田中 裕也
2	14	21.88%	八村 阿蓮
3	13	20.31%	相原アレクサンダー 学

1	18	29.51%	JOOF YUSUF
2	17	27.87%	和田 蓮太郎
3	6	9.84%	小栗 瑛哉
3	6	9.84%	BABACARR. S NYASSI

#### Score ranking[Game]

1	24	田中 裕也	明 成	2	18	JOOF YUSUF	開志国際	3	17	和田 蓮太郎	開志国際
---	----	-------	-----	---	----	------------	------	---	----	--------	------

1Q、明成#10田中の4点プレーからスタート。開志国際の高さのあるゾーンディフェンスに対し、明成はアウトサイドを中心に攻める。対照的に開志国際は身長差をつき、インサイドを中心に攻める。立ち上がりこそ7-0で明成がリードするが、明成はシュートタッチが悪く得点が伸びない。開志国際は#14の3Pや豪快なダンクシュートで差を詰めていく。14-13の1点差で1Q終了。

2Q、明成はシュートの調子が上がらず、フリーで打つもリングにも当たらないシュートが続く。開志国際は#14のアウトサイドから合わせのプレーを展開し、得点を伸ばす。明成は#10田中が奮闘し、前半14得点をあげる。前半を終えて明成が1点リード。

3Q、40-42と開志国際が逆転したところで流れに乗るかと思ったが、その後2本連続でイージーシュートを落としてしまい、流れはどちらにも傾かず。開志国際の3点リードで第3Q終了。

4Q、開志国際がわずかなリードを保ったまま終盤を迎える。残り28.2秒、2点差の場面で明成が2本のフリースローを得るが、2本目をミス。そのリバウンド争いで開志国際が痛恨のファウルを犯してしまい再び明成に2本のフリースロー。しかしこれも2本目を外してしまい、61-61の同点止まり。最後はこの日大活躍の明成#10田中にボールが渡り、劇的なブザービーターで明成が勝利。